

令和4年度 府立丹後緑風高等学校網野学舎 学校経営計画（スクールマネジメントプラン）（計画段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 新たな教育目標、教育方針（育成する力）、育てる生徒像を教育活動の中に明確に位置付け、その具現化を図る。</p> <p>2 生徒信条「青年は未来を信じ使命に生きる」の精神にのっとり、将来に対する夢や目標を持たせ希望進路の実現に向けて挑戦する姿勢を大切にす。</p> <p>3 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりを推進する。</p>	<p>（成果）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 広報紙発行やホームページのこまめな更新によって、本校の特色・魅力を発信できた。</li> <li>2 ICT活用やAI型の授業実践が増え、授業評価アンケートで主体的な学びが工夫されていると回答した生徒の割合が高まった。</li> <li>3 5分前登校が定着して、落ち着いた学習環境が維持できている。また、部活動加入率も高水準で維持できた。</li> <li>4 遠隔授業や合同部活動を円滑に進めることができた。</li> <li>5 コロナ禍であったが、オンライン健康観察や保健委員を中心とした啓発活動、欠席者へのオンライン授業等により教育活動への影響を最小限に抑えることができた。</li> <li>6 企画経営科では、専門学科教育を充実させ、資格取得等で16名が教育長表彰を受けた。</li> <li>7 教職員の働き方改革では、19時30分退勤率を向上させることができた。</li> </ol> <p>（課題）</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 丹後緑風高校として、久美浜学舎と一層緊密に連携を図る必要がある。</li> <li>2 地域の中学生から選ばれる魅力ある学校づくりと一層積極的な情報発信を行う必要がある。</li> <li>3 観点別評価を中心とした新学習指導要領対応、一人一台学習端末の活用、探究活動の充実等の教育課題に対する、組織的な対応を進めていく必要がある。</li> <li>4 早期からキャリア意識を高める指導を進めるとともに、進路希望実現に向けた実践力の養成が必要である。</li> <li>5 新型コロナウイルス感染拡大防止対策を徹底しながら、実施が可能な方法を検討し、教育活動の充実を図る必要がある。</li> </ol>	<ol style="list-style-type: none"> <li>1 久美浜学舎との緊密な分掌間・教科間連携を図り、遠隔授業、農商連携、合同部活動等を中心とした、学舎制による教育を一層推進する。</li> <li>2 産官学連携による地域創生教育を推進し、地域の将来を担う人材を育成する。</li> <li>3 オリンピック・パラリンピック教育推進校として、スポーツを通して共生社会を目指す教育を一層推進する。</li> <li>4 広報活動の充実を図り、本校の特色・魅力を発信し、積極的な生徒募集を進める。</li> <li>5 ICT活用、AI型授業による授業改善、探究活動や言語活動の充実等の教育実践を推進し、主体的に学ぶ生徒の育成を図る。</li> <li>6 観点別評価を中心とした新学習指導要領への対応と一人一台端末の効果的活用法の検討を組織的に推進する。</li> <li>7 学校行事・生徒会活動・部活動・ボランティア活動等とおして主体的に考え、行動する生徒の育成を図る。</li> <li>8 いじめには組織的に対応し、予防や早期発見・解消に努める。また、情報モラル教育の徹底を図る。</li> <li>9 3年間を見通した系統的な進路指導により、進路意識の向上を図るとともに、希望進路実現のための基礎・基本の徹底と実践力の養成を図る。</li> <li>10 教職員の働き方改革を進めるために、教職員の意識改革と業務改善を一層推進する。</li> </ol>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
特色化事業	・広報活動の充実と生徒募集の強化	・広報紙とホームページにより本校の教育活動の特色・魅力を広く発信する。 ・地元中学校への情報発信を強化する。 ・小中高連携の取組を推進し、本校への志望意識を醸成する。 [ホームページの更新回数週5回、広報紙の発行回数年10回]		
	・オリンピック・パラリンピック教育の推進	・障害の有無にかかわらず誰もが楽しめるポッチャ体験を通して、アダプテッドスポーツへの理解を深め、共生社会の重要性の認識を深める。 [教員へのポッチャ研修の実施、生徒のポッチャ体験者の割合100%]		
組織・運営	・学舎制の特徴を活かした教育活動の推進	・日常的な学舎間連携を強化し、遠隔授業、合同部活動の円滑な実施を図る。 ・農商連携を始め、久美浜学舎と連携した取組を積極的に推進する。 [学舎間連携取組年間7回以上]		
	・教職員の資質能力向上による学校全体の教育力の向上	・本校の教育課題に対応する研修を計画的に実施し、日々の教育活動に反映させる。 [校内研修年間50回以上、延べ参加人数700人以上]		
	・教職員の意識改革と業務改善による働き方改革の推進	・Teams等の積極的な活用により、ペーパーレス化と情報共有を図り、業務の効率化の一層の推進を図る。 [19時30分退勤率80%以上]		
学習指導	・主体的に学ぶ生徒の育成	・一人一台学習端末等のICT機器を活用した授業、AI型授業を一層推進する。 [授業評価アンケートでICT活用等、主体的な学びが工夫されていると回答した割合80%] ・様々な教育活動の中で探究活動と言語活動の充実を図る。 [年間読書冊数2000冊以上]		
	・新学習指導要領に対応した評価方法の確立	・教科主任会議で教科横断的な情報共有を図る。・適切な評価の在り方について研修を実施する。 [評価に関する研修3回]		
生徒指導	・生活や態度を調整できる力の育成 ※「スリーC（コミュニケーション・コントロール・チャレンジ）」の取組	・全教職員であいさつ、身だしなみ、礼儀、マナー、時間厳守等を指導し、社会人として必要な力を育む。 ・情報モラル講演会・交通安全指導等を実施し、危険予測・回避行動ができる力を育成する。 [校門遅刻10回以下・交通事故0回]		
	・心と体を調整できる力の育成	・高い部活動加入率を維持するとともに、体力向上や感性を磨く活動への参加を促す。 ・生徒会活動を通して、生徒の創意・工夫する力を引き出す。 [部活動加入率80%以上]		
	・人間関係を調整できる力の育成	・いじめを見逃さず、早期発見・早期対応をするために、教員間での情報交流を密接に行う。 ・キャリア教育・地域貢献に繋がる活動への生徒の積極的な参加を促す。 [地域貢献活動参加生徒年間1000人以上]		
進路指導	・主体的な進路選択に向けた、キャリア意識の育成	・生徒、保護者に対して変化する大学入試等に関する的確な進路情報を提供する。 ・生徒が自己の進路について考え、主体的な進路選択や職業選択ができるよう、各種進路行事の実施と担任、チューター、進路指導部員等によるきめ細かな面談を実施する。 ・地元企業と連携しながら、地域を知り、職業意識を高める取組を実施する。 [進路希望未定者数：1年生10人未満、2年生0人]		
	・希望進路の実現	・就職講習や模擬面接等、早期からの就職指導を充実させる。 ・希望進路の実現に向け、進学講習、小論文指導、面接指導等を組織的に行い、総合力を高める。 [就職内定率100%、最終進路希望調査の実現率90%]		
保健・安全教育	・健やかな心身の育成	・感染症予防について理解を深める。 ・毎日の体調管理の徹底を図る。 ・外部機関と連携し、講演会を実施する。 ・保健委員会による感染症予防の取組を行う。 ・美化委員会による健康啓発活動の取組を行う。 ・SCを活用した教育相談に積極的に取り組む。 [講演会各学年1回、保健委員会週1回、美化委員会週1回、教育相談] ・いじめ対策・特別支援教育会議毎月実施]		
	・安全意識の向上と危機対応能力の育成	・防災委員の活動や防災訓練を通して、防災意識の高揚を図る。 ・保健体育科・クラブ部長会と協力して、生徒の活動中の怪我予防を啓発する。 [事故発生率1.0%以下]		
人権教育	・生徒の人権意識の高揚と人権問題の解決に向けた具体的な行動の促進	・より良い社会を築こうとする意欲の向上と今日の人権問題を正しく理解させる。 ・人権3法について理解するとともに、日々の学習、ホームルーム、部活動等、日々の様々な活動を通じ、共生社会の重要性を正しく認識させる。 [人権ホームルームを各学年2回以上実施]		